

日本人類遺伝学会第 30 回大会記事 (1985)

Proceedings of the 30th Annual Meeting of the Japan Society of Human Genetics, 1985

The 30th Annual Meeting of the Japan Society of Human Genetics was held on November 7–9, 1985, at the Nagoya-city-chushokigyoshinkoh Hall, Nagoya. Prof. Yoshiro Wada, Department of Pediatrics, Nagoya City University Medical School, was the President of the Annual Meeting.

The academic program consisted of symposia, concurrent scientific sessions and poster sessions. In addition, Prof. Tadashi Kajii gave the Japan Society of Human Genetics Award Lecture entitled "The road to diploid androgenesis" and Professor *Emeritus* Eiji Inouye, President of the Japan Society of Human Genetics, delivered the special lecture on "Reminiscences and views of 30 years history of the Japan Society of Human Genetics." Seventeen abstracts presented in the three symposia, 121 abstracts presented in the concurrent scientific sessions and 58 abstracts presented in the poster sessions are printed in this issue. The paper presented by Prof. Kajii on the occasion of receiving the Japan Society of Human Genetics Award is also printed as the opening article in this issue.

The meeting of the Board of Directors of the Japan Society of Human Genetics was held on November 6 at the Nagoya-kankoh Hotel. The main agenda of the meeting consisted of the following: 1) Recommendation of honorary members of the Japan Society of Human Genetics; 2) Commission of the business for the members of the Japan Society of Human Genetics to Business Center for Academic Societies Japan; 3) Establishment of a new committee for research promotion of Japanese human genetics; 4) The Japanese member of the next term of the Permanent Committee for the International Congress of Human Genetics; 5) Selection of Japanese participants of the 7th International Congress of Human Genetics to whom parts of traveling expenses are aided. Besides the agenda, reports on the following subjects were made: Secretaries and Editor-in-chief of the Japan Society of Human Genetics for 1985–1987; preparations for the 31st and 32nd Annual Meeting; the Grand-in-aid for Scientific Research from Ministry of Education, Science and Culture of Japan.

After the meeting of the Board of Directors, the meeting of the Council of the Japan Society of Human Genetics was held on the same day at the same hotel. The general meeting of the Japan Society of Human Genetics was held on November 8 at the Nagoya-city-chushokigyoshinkoh Hall. In these meetings, the establishment of the Committee for Research Promotion of Japanese Human Genetics was approved based on the recommendation of the Board of Directors. Prof. Tadashi Kajii was approved as the Chairman of the committee. Reports made in these meetings were as follows: changes in membership; the result of the election of members of the Council; the result of the election of half members of the Board of Directors; the result of the election of parts of members of the Selection Committee for the Japan Society of Human Genetics Award; partial charge of each member of the Board of Directors as to the work of the

board; Secretaries and Editor-in-chief for 1985-1987; finance and audit; commission of the business for members of the Japan Society of Human Genetics to Business Center for Academic Societies Japan; preparations for the 31st and 32nd Annual Meetings; the Japan Society of Human Genetics Award winner (Prof. T. Kajii) in 1985; ongoing work of the Terminology Committee; President Eiji Inouye's appointment to a member of the Science Council of Japan; activities on the Science Council of Japan; the Japanese member of the next term of the Permanent Committee for International Congress of Human Genetics (Dr. Ei Matsunaga, Director of National Institute of Genetics); the result of the selection of Japanese participants of the 7th International Congress of Human Genetics to whom parts of traveling expenses are aided.

The agenda and reports in the three meetings are described below in more detail in Japanese.

- 会 場 名古屋市千種区吹上 2-6-3 名古屋市中小企業振興会館
 会 期 昭和 60 年 11 月 7 日~9 日
 大会会長 和田義郎 (名古屋市立大学教授)
 大会副会長 松井一郎 (国立小児病院小児医療研究センター部長)
 日暮 眞 (山梨医科大学教授)
 発 表 学会長講演 井上英二 (東大・名誉教授)
 「回顧と展望—日本人類遺伝学会の 30 年—」
 学会賞受賞記念講演 梶井 正 (山口大・小児) 「雄核発生への道」
 シンポジウム
 1) 先天代謝異常スクリーニングの現状と問題点
 司会: 成瀬 浩 (国立武蔵・神経センター)
 和田義郎 (名古屋市大・小児)
 2) 染色体異常児のもつ社会医学的問題点
 司会: 日暮 眞 (山梨医大・保健Ⅱ)
 3) 細胞工学, 遺伝子工学による遺伝病へのアプローチ
 司会: 荻田善一 (富山医薬大・和漢薬研)
 松田一郎 (熊本大・小児)
 一般講演 179 題

第 1 日 (11 月 7 日)

和田大会長の開会の辞に引き続き, 午前中は 2 会場で一般演題の講演があった。午後は大ホールでシンポジウム 1) が行われ, さらにポスターセッション I の後, 一般演題の発表が継続された。

第 2 日 (11 月 8 日)

午前は引き続き一般演題の発表の後, シンポジウム 2) が行われた。午前の終了時に恒例の記念撮影。午後は総会議事に続いて学会賞授与式と受賞講演が行われた。次いで本学会創立 30 年を記念して井上学会長による講演が行われた。講演終了後ポスターセッション II と懇親会が開かれた。

第 3 日 (11 月 9 日)

午前是一般演題の発表が行われ, 午後はシンポジウム 3) が行われ, 松井大会副会長の閉会の辞をもって全日程を終了した。

大会への会員参加は 405 名, うち当日会員は 115 名であった。出題数は年ごとに増加しているが, とくに本年度大会はそれぞれの研究領域で活発な討論が行われた。

理事会

日 時: 昭和 60 年 11 月 6 日 15:00~17:00

場 所: 名古屋観光ホテル

出席者: 井上会長, 岡島, 萩田, 松永, 三輪, 梶井各理事, 中嶋, 池内, 松井各幹事, 和田大会長, 古川次々期大会長, 浜口編集委員長

報告および協議事項 (評議員会記録参照)

1. 名誉会員 2 名の推薦が了承された。
2. 評議員の任期中に名誉会員に推薦された場合の取り扱いについて協議を行った。
3. 研究推進委員会の設置 (委員長候補 梶井理事) を評議員会・総会の議題とすることにした。
4. 会員業務を日本学会事務センターに委託することについて協議を行った。
5. 国際人類遺伝学会常置委員の交代について協議を行った。
6. 第 7 回国際人類遺伝学会議出席のための旅費補助について協議と選考を行い, 応募者の中から 4 名の補助予定者と 2 名の補欠を決定した。
7. 編集委員長, 幹事について報告があった。
8. 次期 (昭和 61 年度) 大会および次々期 (昭和 62 年度) 大会 (第 22 回日本医学会総会分科会) の準備状況, 科研費関係の報告, 用語委員会の作業進行状況, その他の報告などがなされた。

評議員会

日 時: 昭和 60 年 11 月 6 日 17:00~19:00

場 所: 名古屋観光ホテル

出席者: 51 名

報告にさきだち, 3 名の物故名誉会員のご冥福をお祈りした。

I. 報告事項

1. 庶務報告

- 1) 会員異動状況 (昭和 59 年 12 月 31 日現在) が報告された。
- 2) 評議員選挙, 理事半数改選選挙, 学会賞選考委員一部改選選挙の結果が報告された (人遺誌, 30(2):188)。
- 3) 臨時理事会開催 (2 月 10 日, 人遺誌, 30(2):185), 昭和 60 年度第 1 回および第 2 回理事会開催 (9 月 14 日, 11 月 6 日) および理事業務分担が報告された。
- 4) 今期の編集委員長 (浜口秀夫), 幹事 (中嶋八良, 池内達郎, 松井一郎) が委嘱された。

2. 会計報告

- 1) 昭和 59 年度会計報告および同監査報告がなされ承認された。
- 2) 昭和 60 年度会計中間報告がなされた。
- 3) 会員業務 (会費の請求, 徴収および会員宛ての学会誌の発送など) を昭和 61 年度から日本学会事務センターに委託することが報告された。会計収支の現状から判断して 62 年度に会費値上げの必要があることが報告された。

3. 編集報告

論文の投稿, 受理状況の報告がなされた。

4. 昭和 61 年度および昭和 62 年度大会準備状況報告

日本人類遺伝学会第 31 回大会は昭和 61 年 11 月 6~8 日, 日本都市センター (東京) で開

催予定である旨の報告が三輪次期大会長よりなされた。第 32 回大会 (第 22 回日本医学会総合分科会) の準備状況につき古川次々期大会長より報告がなされた。

5. 委員会報告

1) 学会賞選考委員会

昭和 60 年度学会賞は候補者 3 名について審査の結果、山口大・小児科 梶井 正氏に贈られることが決定した旨の報告がなされた (人遺誌, 30(2):185)。

2) 人類遺伝学会用語委員会

委員会の作業進行状況が報告された。

6. 理事担当事項等報告

1) 学術会議関係

日本学術会議の改組に伴う本学会の対応とその経過が報告された (人遺誌, 29(4):461 および 30(2):185 参照)。昭和 60 年 7 月 22 日、本学会井上英二会長が第 13 期日本学術会議会員の任命を受けた旨の報告があり、学術会議第 7 部・遺伝医学研究連絡委員会の今後の活動について説明がなされた。

2) 国際人類遺伝学会常置委員会

国際人類遺伝学会常置委員会の現委員井上英二会長から次期委員として松永 英理事に交代する旨の報告がなされた。

3) 第 7 回国際人類遺伝学会出席のための旅費補助と応募者の選考について

以下の報告がなされた。応募者総数 16 名、うち会員資格、年齢資格 (40 歳未満) の適格者 13 名、6 名の理事による投票 (候補者が理事と同一所属の場合は該当事者に対する投票権なく、得点の平均値で順位を決定) の結果、次の 4 名に旅費補助を行うことに決定した。宝来 聡 (国立遺伝研)、孫田信一 (愛知コロニー)、塩田浩平 (京都大)、蒲生 忍 (慶応大)。予定者のうち辞退者が出た場合には次の補欠候補に補助を行うこととした。①塚原正人 (山口大)、②中堀 豊 (国立小児)。

II. 協議事項

1. 研究推進委員会の設置について

日本学術会議を支援することを一つの目的とする研究推進委員会の設置につき協議を行い、この委員会を設置することとなった。委員長は梶井理事が推薦・承認され、委員を選定して 11 月 9 日に第 1 回委員会を開催することとなった。

2. 名誉会員として柴田 進氏 (山口大学名誉教授)、半田順俊氏 (和歌山大学名誉教授) が満場一致で推薦された。

総会記事

I. 報告事項

1. 庶務報告

会員の異動状況 (表 1)、評議員選挙・理事半数改選選挙・学会賞選考委員一部選挙の結果、理事会の開催、理事業務分担、今期の編集委員長・幹事の委嘱について報告がなされた。

2. 会計報告

昭和 59 年度会計報告 (表 2) および同監査報告がなされ承認された。引き続き昭和 60 年度会計中間報告 (表 3)、会員業務を昭和 61 年度から日本学会事務センターに委託することが報告され、62 年度に会費値上げの必要があることが報告された。

表 1 会員の異動状況 (昭和 59 年 12 月 31 日現在)

会員の種類	現在数	入 会	退 会	増 減	
普通会員	{ 国内	854	92	92	±0
	{ 国外	20	0	3	-3
名誉会員	{ 国内	22	1	0	+1
	{ 国外	10	0	1	-1
機関会員	94	3	1	+2	
維持会員	4	0	0	±0	
計	1,004	96	97	-1	

表 2 昭和 59 年度会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	8,346,808	雑誌刊行費	5,005,760
会 費	4,166,293	雑誌送費	167,630
雑誌売上代	614,018	雑誌編集費	150,000
論文掲載料	313,549	大会補助金	300,000
文部省科研費	1,420,000	事 務 費	487,145
医師会助成金	200,000	理事会旅費	334,100
広告掲載料	355,000	人 件 費	960,000
預金利子	137,187	次年度繰越金	8,148,220
計	15,552,855	計	15,552,855

{28巻3・4号
{29巻1・2号

表 3 昭和 60 年度中間報告 (60.1.1-60.10.25)

収 入		支 出	
前年度繰越金	8,148,220	雑誌刊行費	3,177,388
会 費	4,388,989	雑誌送費	576,189
雑誌売上代	658,066	雑誌編集費	200,000
論文掲載料	654,450	会員名簿作成	390,000
文部省科研費	1,420,000	大会補助金	300,000
広告掲載料	175,000	I G F 会費	104,860
預金利子	120,577	事 務 費	902,798
		理事会旅費	261,230
		人 件 費	480,000
計	15,565,302	計	6,392,465

{29巻3・4号
{30巻1号

3. 編集報告

論文の投稿, 受理状況および「人類遺伝学雑誌」の質的向上と編集業務の能率化を図るためにワーキンググループを発足させて具体策を検討することになったことが報告された。

4. 昭和 61, 62 年度大会準備状況について
三輪次期大会長, 古川次々期大会長からの報告があった。
5. 委員会報告
学会賞選考委員会, 人類遺伝学会用語委員会からそれぞれ報告があった。
6. 理事担当事項等報告
学術会議関係, 国際人類遺伝学会常置委員会, 第 7 回国際人類遺伝学会出席のための旅費補助と応募者の選考, その他の報告がなされた。

II. 協議事項

1. 研究推進委員会の設置について
研究推進委員会の設置につき協議を行った。委員長として梶井理事が推薦・承認された。
2. 柴田 進氏, 半田順俊氏をそれぞれ第 44 番目, 第 45 番目の名誉会員として推薦することが提案され, 満場一致で了承された。

(庶務幹事 松井一郎)